

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年8月26日

2003年8月24日現在：

前々週は極めて高温の日が続いたが、8月24日に終わる週の気温は多少下がった。最高気温は北東地区では97～103度Fと他の地区の気温より多少高かった。降雨は少なく0.00～0.83インチ程度で、土壌水分は更に悪化した。1週間の州平均農作業日数は、6.9日（前週：6.8日）であった。

6月下旬までは略完璧と言える生育気象条件であったが、7月からの高温・乾燥は出穂～乳熟期に有った春小麦の作柄を著しく悪化させた。

春小麦の完熟・収穫は急速に進み、8月24日現在全州の78%の春小麦が収穫された（昨年：57%、平年：54%）。HRSの品質は、容積重は凡そ53.2～59.3lb/bu程度で昨年（平均：58.27lb/bu）より低く、蛋白質（水分12%ベース）は14.09～16.27%と昨年の平均値15.63%より高い数値が出ている。灰分も昨年より高い傾向である。

冬小麦は、全州の98%で収穫が収量した。昨年よりやはり早いペースとなった。冬小麦（HRW）のこれまでの品質は、容積重は2002年産より高く平均62.1lb/buの報告もある。昨年は57.2lb/buであった。蛋白質は昨年より低目で平均13.2%（水分12%ベース）、灰分は1.49%（昨年：1.6%台）と発表された。冬小麦は6月末までに略成熟期に達しており（根も深い事より）、7月の高温・乾燥は春小麦程には影響を及ぼさなかった。

8月1日付けUSDAの冬小麦収穫量予想では、単位収量は7月1日予想から変化が無かったが、春小麦の予想では5.0bu/acre減少し、24.0bu/acreなった。7月の高温・乾燥が単位収量を落とす結果となった。

土壌水分状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Avg.
Topsoil (%)				
Very short	77	75	27	36
Short	20	21	31	40
Adequate	3	4	39	23
Surplus	0	0	3	1
Subsoil (%)				
Very short	69	64	38	42
Short	27	28	37	39
Adequate	4	8	24	19
Surplus	0	0	1	0

冬小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Harvested (%)	98	94	87	92

次頁に続く：

春小麦進捗状況 :

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Ripe (%)	95	80	61	79
Harvested (%)	78	39	26	53

春小麦作柄状況 :

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Very poor (%)	24	14	7	NA
Poor (%)	26	33	20	NA
Fair (%)	36	39	45	NA
Good (%)	12	12	22	NA
Excellent (%)	2	2	6	NA

Source: Montana Agricultural Statistics Service

モンタナ州小麦作付面積 : USDA2003年3月1日発表

冬小麦の作付け増加と破棄圃場の減少見込みより、春小麦 (HRS) の播種面積は減少すると見込まれた。

	Area Planted 1000 acres			
	2001 Crop	2002 Crop	2003 Crop	2003/2002
Winter wheat	1,300	1,450	1,850	128%
Durum wheat	510	590	600	102%
HRS wheat	3,550	3,750	3,100	83%

2003年8月1日付け農務省発表の冬、デュラム、硬質赤色春 (HRS) 小麦生産量予想 :

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	750	1,750	28.0	37.0	37.0	21,000	64,750
Durum	565	640	23.0	29.0	25.0	12,995	16,000
HRS	3,450	2,800	22.0	29.0	24.0	75,900	67,200

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。
小川正晃 : E-mail ogawa.max@omicnet.com